

(様式①)

事業計画書目次

[都市整備局]

2款2項1目 GREEN×EXPO推進費

(単位：千円)

計画書頁	事業名	令和6年度		令和5年度		増△減(6-5)		新規・拡充
		事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	
1	GREEN×EXPO推進事業	5,105,468	1,589,968	743,749	473,749	4,361,719	1,116,219	○
2	旧上瀬谷通信施設地区 新たな交通整備事業	300,000	300,000	80,000	80,000	220,000	220,000	○
3	旧上瀬谷通信施設地区 周辺道路整備事業	2,509,181	1,234,831	2,028,880	1,051,772	480,301	183,059	○
4	旧上瀬谷通信施設地区 新たなインターチェン ジ整備事業	150,000	150,000	80,000	80,000	70,000	70,000	○
	計	8,064,649	3,274,799	2,932,629	1,685,521	5,132,020	1,589,278	

令和6年度 事業計画書

事業局課	都市整備局	国際園芸博覧会推進課	新規拡充	■ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	7					
歳出予算科目	一般会計	2	款	2	項	1	目	政策番号	26	施策番号	6
事業名称	GREEN×EXPO推進事業										

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	5,105,468	37,500	0	3,478,000	5,000	1,584,968
令和5年度	743,749	0	0	270,000	0	473,749
増▲減	4,361,719	37,500	0	3,208,000	5,000	1,111,219

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	677,845	357,671	4,052,134	7,261,134	3,386,467
	市債＋一般財源	667,845	257,671	4,052,134	7,261,134	3,386,467
決算	事業費	630,290	189,405			
	市債＋一般財源	624,122	188,405			

事業概要 (アクティビティ)	平成27年6月に米軍から返還された旧上瀬谷通信施設において、国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献を目的とした国際園芸博覧会の開催に向けた取組を進めます。 (令和4年度より開催主体である公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会が主体的に博覧会開催に向けた取組を行い、本市は開催地自治体として、これまでに培った市内の行政ネットワーク・地域の強みなどを活用し、協会や地元経済界等と連携し、機運醸成の取組等を推進します。)							
-------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業指標① (アウトプット)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
博覧会に対する認知度 (市内)	単位	目標	-	-	-	90.0	-	-	-
	%	実績	24.5	34.7					
事業指標② (アウトカム)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
国際博覧会での本市PR実施	単位	目標	-	1	1	-	1	-	-
	回	実績	-	1					

事業目的	GREEN×EXPO 2027 (2027年国際園芸博覧会) では、圧倒的な花や緑で来場者をお迎えするとともに、自然の持つ魅力や機能の大切さに触れていただきながら、最先端の園芸や農業、世界中の様々な食文化を体験できる、魅力的なコンテンツを揃えていきます。また、気候変動や生物多様性の損失といった、地球規模の環境課題に対する解決策として、環境と共生する暮らしや、自然と最先端技術が融合したまちづくり等の姿を、市民の方々の様々な企業と共有し、グリーンイノベーションによる新しい社会の実現を目指し、新しいメッセージを横浜から国内外に発信していく博覧会を目指します。
------	---

背景・課題	国際園芸博覧会として開催することで、花き園芸産業・造園業の振興や先導的なまちづくりへの貢献とともに、花や緑、農が身近にある幸せの暮らしの姿 (Scene) を示すことにより、人々のライフスタイル (暮らし方) を緑や自然環境を一層尊重するものへと変革する契機とし、望ましい未来の実現につなげることができます。
-------	--

根拠法令・方針決裁等	AIPH開催申請・承認 閣議了解「2027年国際園芸博覧会の開催申請について」 令和九年度に開催される国際園芸博覧会の準備及び運営のために必要な特別措置に関する法律 2027年国際園芸博覧会事業費補助金交付要綱、BIE認定、2027年国際園芸博覧会基本計画
------------	---

根拠・データ等	・閣議了解「2027年国際園芸博覧会の開催申請について」より抜粋 神奈川県横浜市における国際園芸博覧会については、2027年(令和9年)に開催することとし、国際博覧会に関する条約上の開催申請手続を進めることとする。 本国際園芸博覧会は、気候変動等の世界的な環境変化を踏まえ、我が国が培ってきた自然との関係性の中で、自然環境が持つ多様な機能を暮らしにいかす知恵や文化について、その価値を再評価し、持続可能な社会の形成に活用するとともに、国際的な園芸文化の普及、花と緑があふれ農が身近にある豊かな暮らしの実現、多様な主体の参画等により幸福感が深まる社会を創造することを目的とする。 ・「令和九年度に開催される国際園芸博覧会の準備及び運営のために必要な特別措置に関する法律」より抜粋 (趣旨) 第一条 この法律は、令和九年度に開催される国際園芸博覧会(以下「博覧会」という。)が国家的に重要な意義を有することに鑑み、博覧会の円滑な準備及び運営に資するため、国際園芸博覧会協会の指定等について定めるとともに、国の補助、国有財産の無償使用、寄附金付郵便葉書等の発行の特例等の特別の措置を講ずるものとする。
---------	---

事業スケジュール	・平成28年度：事業開始 ・平成30年度：「旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会 基本構想案」の策定 ・平成31年度：政策局国際園芸博覧会招致推進室を設置/「国際園芸博覧会横浜誘致推進協議会」の設立 ・令和2年度：都市整備局上瀬谷整備・国際園芸博覧会推進室を設置/「2027国際園芸博覧会推進委員会」の設立 ・令和3年度：開催申請についての閣議了解/2027年国際園芸博覧会協会の設立 ・令和4年度：広報PR・機運醸成、関係機関との調整、基本計画策定・公表 ・令和5年度：広報PR・機運醸成、関係機関との調整、GXショーケース検討、ヨコハマ未来創造会議(仮称)の設置 ・令和6～8年度：広報PR・機運醸成、関係機関との調整、GXショーケース検討・具体化、ヨコハマ未来創造会議(仮称)の運営 ・令和9年3月～9月：GREEN×EXPO 2027(2027年国際園芸博覧会)開催
----------	--

事業開始年度	平成28年度
--------	--------

(単位：千円)

細事業名称		6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
細事業(事業内訳)	1 GREEN×EXPO推進広報費	345,000	90,000	255,000	広報・機運醸成活動強化のため
	2 ヨコハマ未来創造会議運営費	75,000	0	75,000	新規事業による増
	3 GREEN×EXPO推進活動費	70,000	70,000	0	

細事業(事業内訳)	4	輸送対策費	50,000	0	50,000	新規検討による増
	5	GREEN×EXPO会場建設費	1,084,079	309,890	774,189	会場建設費年度別負担額の増
	6	国際園芸博覧会協会費負担金	3,478,000	270,000	3,208,000	寄附増加による増
	7	事務費	3,389	3,859	▲470	経費見直しによる減
	細事業合計		5,105,468	743,749	4,361,719	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長
	中林 都	井上 美穂

令和6年度 事業計画書

事業局課	都市整備局	上瀬谷交通整備課	新規拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	22					
歳出予算科目	一般会計	2	款	2	項	1	目	政策番号	26	施策番号	5
事業名称	旧上瀬谷通信施設地区新たな交通整備事業										

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	300,000	0	0	0	0	300,000
令和5年度	80,000	0	0	0	0	80,000
増▲減	220,000	0	0	0	0	220,000

歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	810,630	30,000
	市債＋一般財源	452,130	30,000
決算	事業費	90,615	27,444
	市債＋一般財源	90,615	27,444

令和7年度	令和8年度	令和9年度
361,000	361,000	1,056,000
361,000	361,000	529,000

事業概要 (アクティビティ)	相模鉄道本線瀬谷駅から旧上瀬谷通信施設地区に至る新たな交通の整備を行います。								
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
調査・設計・工事	単位	目標	調査・基本設計	事業化検討(概略検討)	事業化検討(概略検討)	基本設計、調査等(予定)	詳細設計等(予定)	詳細設計等(予定)	工事発注等(予定)
	工程	実績	事業者調整調査・基本設計	事業化検討(概略検討)					
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
	単位	目標							
	実績								
事業目的	新たな交通を整備し、将来の上瀬谷及び周辺の公共交通の利便性向上や道路混雑の抑制を図ります。								
背景・課題	旧上瀬谷通信施設地区では、2027年3月にGREEN×EXPO2027が開催され、その後は観光・賑わい地区をはじめとする大規模な土地利用転換が行われることから、交通需要の大幅な増加が想定されます。 一方で、米軍に提供されていた歴史的経緯から、本地区周辺の都市基盤は脆弱な状況であるほか、本地区に至るバス等の公共交通が整備されていません。								
根拠法令・方針決裁等	道路法、横浜国際港都建設法 等								
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 道路関連法令(道路法、道路運送法、道路交通法、道路運送車両法) 都市計画法(都市計画法案説明会、公聴会、都市計画法案縦覧、都市計画法審議会・都市計画法決定) 								
事業スケジュール	平成23年3月 「横浜市米軍施設返還跡地利用行動計画」改定(22年11月 市民意見募集実施) 令和元年度 配慮書公告・縦覧、旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画策定 令和2年度 基本設計、測量・調査、方法書公告・縦覧 令和3年度 事業化検討、基本設計、事業者調整 令和4年度 事業化検討(事業者調整、軌道法、道路法、都市計画法に基づく手続などに向けた検討) 令和5年度 都市計画法に基づく協議・調整、事業化検討 令和6年度 都市計画法に基づく手続、基本設計、調査等(予定) 令和7、8年度 都市計画法に基づく手続、詳細設計等(予定) 令和9年度～ 工事発注、工事着手等(予定)								
事業開始年度	令和2年度								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	新たな交通整備事業		298,000	78,000	220,000
2	事務費		2,000	2,000	0	
細事業合計			300,000	80,000	220,000	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 守谷 俊輔	係長 細谷 直由	瀧澤 恵
------------------------------------	-------------	-------------	------

令和6年度 事業計画書

事業局課	都市整備局	上瀬谷交通整備課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	50					
歳出予算科目	一般会計	2	款	2	項	1	目	政策番号	26	施策番号	5
事業名称	旧上瀬谷通信施設地区周辺道路整備事業										

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	2,509,181	1,274,350	0	0	1,041,000	193,831
令和5年度	2,028,880	977,108	0	0	879,000	172,772
増▲減	480,301	297,242	0	0	162,000	21,059

歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	295,370	1,252,370
	市債＋一般財源	166,670	611,070
決算	事業費	90,891	745,557
	市債＋一般財源	63,407	383,227

令和7年度	令和8年度	令和9年度
3,974,876	2,335,976	389,876
1,856,276	1,121,521	210,576

事業概要 (アクティビティ)	旧上瀬谷通信施設における大規模な土地利用転換に伴い、発生が想定される交通需要に対応するため、市道五貫目第33号線（八王子街道）や瀬谷地内線の整備および環状4号線目黒交番前交差点の立体化工事を行います。						
-------------------	--	--	--	--	--	--	--

事業指標① (アウトプット)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
用地取得面積	単位	目標	1000	5000	5000	2000	400		
	m ²	実績	0	1302.5					
事業指標② (アウトカム)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標							
		実績							

事業目的	発生が予想される交通需要のうち、北方面からのアクセスに対応するため、市道五貫目第33号線（八王子街道）の拡幅整備や目黒交番前交差点の立体化を行い、混雑緩和や交通円滑化を図ります。また、南方面からのアクセス経路を複数確保するため、瀬谷地内線を整備することにより、自動車交通の分散を図ります。
------	--

背景・課題	旧上瀬谷通信施設地区では、2027年3月にGREEN×EXPO2027が開催され、その後は観光・賑わい地区をはじめとする大規模な土地利用転換が行われることから、交通需要の大幅な増加が想定されます。一方で、米軍に提供されていた歴史的経緯から、本地区周辺の都市基盤は脆弱な状況です。
-------	---

根拠法令・方針決裁等	道路法、横浜国際港都建設法 等
------------	-----------------

根拠・データ等	・都市計画法（都市計画案説明会、公聴会、都市計画案縦覧、都市計画審議会・都市計画決定・事業認可）
---------	--

事業スケジュール	平成23年3月 「横浜市米軍施設返還跡地利用行動計画」改定（22年11月 市民意見募集実施） 令和元年度 旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画の策定 令和2年度 市道五貫目第33号線予備設計、瀬谷地内線予備設計 令和3年度 用地取得、市道五貫目第33号線詳細設計、瀬谷地内線詳細設計・事業認可 令和4年度 用地取得、市道五貫目第33号線詳細設計、道路区域決定、都市計画変更、瀬谷地内線詳細設計 令和5年度 工事着手、用地取得、環状4号線等道路交通円滑化検討 令和6年度 工事施工、用地取得、環状4号線目黒交番前交差点立体化工事着手 令和7年度 工事施工、用地取得 令和8年度～ 工事施工
事業開始年度	令和2年度

(単位：千円)

細事業名称		6年度	5年度	差引（増減）	増減説明
1	市道五貫目第33号線整備事業	1,268,000	1,021,560	246,440	事業進捗に伴う物件転補償金等の増
2	瀬谷地内線整備事業	589,000	923,000	▲334,000	事業進捗に伴う用地費等の減
3	環状4号線（北町地区）整備事業	610,000	80,000	530,000	工事着手に伴う工事費等の増
4	事務費	42,181	4,320	37,861	事業進捗に伴う増

	細事業合計	2,509,181	2,028,880	480,301	
--	-------	-----------	-----------	---------	--

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、 公正・適正に作成しました。	課長	係長		
	加藤 稔	細谷 直由		瀧澤 恵

令和6年度 事業計画書

事業局課	都市整備局	上瀬谷交通整備課	新規拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号						
歳出予算科目	一般会計	2	款	2	項	1	目	政策番号	26	施策番号	5
事業名称	旧上瀬谷通信施設地区新たなインターチェンジ整備事業										

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	150,000	0	0	0	100,000	50,000
令和5年度	80,000	0	0	0	0	80,000
増▲減	70,000	0	0	0	100,000	▲30,000

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	0	0	312,000	162,000	1,502,000
	市債+一般財源	0	0	312,000	162,000	1,502,000
決算	事業費	0	0			
	市債+一般財源	0	0			

事業概要 (アクティビティ)	旧上瀬谷通信施設の土地利用の促進にあわせて、交通利便性の向上や周辺の交通負荷の低減に向け、東名高速道路と直結する新たなインターチェンジの整備を行います。							
-------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業指標① (アウトプット)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
調査・設計・法定手続・工事	単位	目標		基本検討・協議調整	事業化検討・予備設計	予備修正・詳細設計・法定手続(予定)	詳細設計・法定手続(予定)	法定手続・用地取得・工事着手(予定)	用地取得・工事施工(予定)
	工程	実績		基本検討・協議調整					
事業指標② (アウトカム)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標							
		実績							

事業目的	<p>(1) 広域アクセスの向上による郊外部の新たな活性化拠点の形成促進 東名高速道路と上瀬谷地区が直結することで、広域アクセスが大幅に向上し、物流地区をはじめとする当地区の拠点形成が促進されるとともに、周辺エリアだけでなく本市全体の交通利便性が向上します。</p> <p>(2) 地区周辺道路及び横浜町田ICの交通負荷の低減 道路ネットワークの強化が図られることで、本市西部地域における交通利便性が向上するとともに、自動車交通が分散し、地区周辺や横浜町田ICに与える交通負荷が低減され、周辺交通環境の改善が図られます。</p> <p>(3) 大規模災害時の広域活動拠点機能の強化 緊急輸送路である東名高速道路と直結されることで、当該地区における大規模災害時の広域応援活動拠点としての機能強化が図られます。</p>
------	---

背景・課題	<p>旧上瀬谷通信施設地区では、土地区画整理事業の実施に伴い、観光・賑わい地区や物流地区をはじめとする大規模な土地利用転換が行われることから、交通需要の大幅な増加が想定されます。</p> <p>一方で、米軍に接収されていた歴史的経緯から、当地区周辺の都市基盤は脆弱であるが、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接していることなど交通利便性に優れていることから、交通集中が発生しやすい状況です。</p>
-------	---

根拠法・方針決裁等	道路法、高速自動車国道法 等
-----------	----------------

根拠・データ等	・都市計画マスタープラン瀬谷区プラン ・旧上瀬谷通信施設地区土地利用基本計画及びデザインノート
---------	---

事業スケジュール	<p>令和4年度 基本検討、事業手法の協議・調整</p> <p>令和5年度 事業化検討、予備設計</p> <p>令和6、7年度 都市計画等の法定手続(予定)、予備修正・詳細設計(予定)</p> <p>令和8年度 連結許可申請(予定)、用地取得・工事着手(予定)</p> <p>令和9年度～ 用地取得・工事施工(予定)</p>
事業開始年度	令和5年度

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	新たなインターチェンジ整備事業	148,000	78,000	70,000	事業化の具体化に向けての増
2	事務費	2,000	2,000	0		

	細事業合計	150,000	80,000	70,000	
--	-------	---------	--------	--------	--

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、 公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	原田 博志	細谷 直由	瀧澤 恵